



教員（京都大学防災研究所）公募のお知らせ

京都大学防災研究所では、下記の要領で教員を公募しております。

記

公募人数：教授 1名

所 属：大気災害研究部門暴風雨災害研究分野

研究内容：台風・竜巻・集中豪雨などのメソスケールの異常気象現象の発生・発達機構や、アジアモンスーン等の地域規模のエネルギーや水の循環、及びそれらの現象の素過程である海面・陸面相互作用に関する研究を行う。また、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地球物理学分野の教育を担当する。

任用時期：平成17年10月1日以降

応募資格：博士の学位を有する者。

提出書類：

- 1) 履歴書
- 2) 研究業績一覧(「著書」,「論文」,「総説・解説」,「報告書」)に分類し,論文については,「査読

あり」,「査読なし」および「国際会議報告」等に区分して一覧表を作成すること)

- 3) 主要論文5篇の別刷またはコピー
- 4) 研究業績の概要(A4判用紙2枚以内)
- 5) 今後の研究計画及び抱負(A4判用紙2枚以内)
- 6) 推薦書または応募者について意見を伺える方の氏名と連絡先

公募締切：平成17年6月30日(木) 必着

書類提出先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学宇治地区事務部

防災研究所担当事務 吉山孝子 気付
大気災害研究部門暴風雨災害研究分野
教授候補者選考委員会(宛)(封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し,郵送の場合には簡易書留にすること。)

問い合わせ先：封書の場合は書類提出先と同じ

Tel : 0774-38-3348, Fax : 0774-38-4030

E-mail : tyosiyam@uji.kyoto-u.ac.jp

編集後記：各所でフレッシュな顔ぶれが揃い新年度がスタートしたと思います。これからの研究プラン、授業プラン、あるいは事業プランを立てて実行もスタートした(あるいは、しようとしている)ところでしょう。編集委員としてもフレッシュな気持ちで「天気」の発刊に努めたいと思います。

さて編集委員会では2007年に迎える日本気象学会125周年企画の検討が始まりました。長い気象学会の歴史の中で気象学は様々な分野に影響もし影響もされてきたことと思います。その中でも、いつの時代も天候が企業活動や一般消費活動にも大きく影響していることは知られていたことでした。まさに「風が吹けば桶屋が儲かる」という格言が象徴的でしょうか(多くの会員の皆様にはテレコネクションを思い浮かべるので

ないかと思いますが……)。巷では、昨年の猛暑や台風などの影響で「天候デリバティブ」(デリバティブとは金融派生のという意味)商品の人気急上昇したそうです。だいたい名前が定着してきましたのでご存知の方も多いたと思いますが、天候デリバティブは、気象要因によって被害を受ける恐れがある企業などが、損害分を取り戻す(リスクヘッジする)のに役立つ金融商品のことを言い、気温や雨量など天候に応じて補償金を払う保険に似た商品です。損保会社や銀行が販売しています。

日本における天候デリバティブの需要は、今のところ、自社事業でリスク分散できる大企業よりも、自社でリスク分散できない中小企業や小売業に需要が多いそうです。猛暑で客足が鈍るリスクを持っているラー

メン店も利用したとか。日本ではじめて天候デリバティブの取引がおこなわれたのが1999年と言いますから、まだ歴史が浅い分野です。企業が天候リスクをヘッジするには、天候デリバティブのような金融商品を利用することが保険をかけるよりも経済的である一方、私達気象事業者にとっては、やはり気象情報を活用していただくことが何よりであり、予報精度の向上と同時に、安心して情報を利用していただく仕組みやフォローも大切になります。また企業活動の判断材料として確率予報など、その企業活動にあった予報の利用方法も導入されることが望ましい場合もあります。

実際に企業の方々と話してみると、自社が企業活動に天候の影響があることは経験的に分かっているものの、気象の要因だけが日常的に影響しているわけではないことなどから関連性を統計的に調べたり活用したりしているところは多くありません。むしろ気象情

報の活用方法が分からなかったり、予報の精度（外れてしまうこと）に不安を感じていることが多いのが私の印象です。

天候デリバティブの人気上昇に伴って、これまで漠然とでしか天候に関心が無かった企業が、徐々に関心度を高め、気象要因との関係が分かってくると、気象情報の利活用が進むことが期待されます。気象事業の市場が徐々に縮小している今日、なおも日本の企業の7割くらいが天候によって企業活動に何らかの影響を被っているそうです。そういう意味では、今後の気象学発展、企業活動への気象情報の利活用が、経済活動の活性化、豊かな社会へ……という道筋を作ってくれるのではないかと密かに？ 期待しています。風吹けば桶屋が儲かる式に……。あまりの法螺話で恐縮でしたが、ぜひ会員の皆様の経験や談話も「天気」にお寄せいただけると幸いです。（田口晶彦）

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

青柳曉典・池田 徹・榎本 剛

大淵 濟・笠原真吾・勝山健一

金田昌樹・上口賢治・川島正行

小出 寛・小林健二・桜井敏之

佐藤晋介・小司禎教・関山 剛

高橋 宙・田口晶彦・寺坂義幸

中西幹郎・中村 尚・新村典子

平井雅之・別所康太郎・水野 量

山本 哲

地区編集委員 北海道 伊藤道男・渡部雅浩

東北 土井雅彦・岡本 創

関東 岡田憲治・河野耕平

中部 岡田 京・永尾一平

関西 松村 哲・山中大学

九州 磯部英彦・中島健介

沖縄 新里博美

編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体（図書館も含む）は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp